

はじめに

誰もが学べる社会の 実現に向けて

少子高齢化や核家族化の進行、情報化の進展、国際化、また、人々のライフスタイルや価値観の多様化など、社会の変化がこれまで以上に激しくなると考えられます。

こうしたなか、教育、文化、健康、まちづくり、福祉、環境、産業、情報、防災など様々な分野にわたって、一層多様な学習ニーズが生まれてくることが予想されます。

このような学習活動の多様性や広がりに対応するために、これからの社会では、行政や事業者、団体等が連携しながら学習環境が整えられていく必要があります。

また、一方で、学習成果が適切に評価され、個々人の生き方に生かされるとともに、地域の課題解決にも寄与するなど、一人ひとりの価値の追求にとどまらず、その成果を社会に生かすことができるようにしていくことも求められています。

学習により生きがいを追求し、そのことが創造性豊かな社会の実現に結びついていく社会こそ、生涯学習社会と呼ぶにふさわしいものです。

誰もが生涯のいつでも学ぶことができ、心の豊かさや生きがいを見出し、学んだ成果を生かすことで充実した人生を送ることができるような社会であることが望まれています。